



2021年8月24日

各 位

会 社 名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋爪 克仁
(コード：6090、東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート統括本部長 大畑 恭宏
(TEL. 03-3551-2180)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2021年8月24日	15:00～16:00
開催方法	ライブ配信による開催	
説明会資料名	2021年6月期 決算説明会資料	

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上



Human Metabolome Technologies, Inc.



2021年6月期 決算説明資料

2021年8月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2021年6月期（前年度） 決算報告
2. 2022年6月期（今年度） 業績予想
3. 今後の経営方針

参考資料



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2021年6月期（前年度） 決算報告
2. 2022年6月期（今年度） 業績予想
3. 今後の経営方針

参考資料



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 2021年6月期 重点施策



売上増加

- 解析メニューの拡販
- グローバルでの認知度向上

黒字化

- 適切なコストコントロール
– 効率的な営業活動・研究
開発投資

- 営業活動強化・新解析メニュー拡販に注力
- バイオマーカー事業を中心として
効率的に研究開発を継続
- メタボロミクス解析のキャパシティ向上

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

**メタボロミクス事業の受注拡大・
営業の効率化や一般管理費の削減に取り組む
増収増益・2014年3月期以来の黒字化達成**

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2020年6月期	2021年6月期	増減額	増減率
売上高	1,118	1,124	6	0.5%
営業利益	△ 17	39	56	—
経常利益	△ 16	59	75	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 47	58	105	—
1株当たり当期純利益	△ 8.15	9.87	—	—

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

セグメント別実績

セグメント売上高

	2020.6	2021.6	増減額
メタボロミクス 事業	1114	1,119	5
バイオマーカー 事業	4	4	0
全社共通	—	—	—
合計	1118	1,124	6

セグメント費用

	2020.6	2021.6	増減額
メタボロミクス 事業	657	696	39
バイオマーカー 事業	165	75	△ 90
全社共通	313	313	0
合計	1,135	1,084	△ 51

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

営業利益

	2020.6	2021.6	増減額
メタボロミクス 事業	457	423	△ 34
バイオマーカー 事業	△ 160	△ 70	90
全社共通	△ 313	△ 313	0
合計	△ 17	39	56

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

- アカデミア向け技術だったものが、**産業界の技術**に進展



- 健康長寿・予防医療を目的とした**ヘルスケア関連**での新事業開発向けニーズ増大
- **感染防御**や**免疫強化**（腸内環境の改善等）を目的とした、様々な機能性食品のニーズ増大
- メンタルヘルスなどの健康志向（**睡眠・ストレス・疲労・癒し**）に関連する市場規模拡大
- 認知症などの精神神経疾患に対する**早期発見・診断・治療法開発**への期待の高まり
- **バイオマーカー探索**ニーズ増大

新型コロナウイルスの影響もあり
未病・予防を目的とした
ヘルスケアへの関心がより高まっている

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業活動強化・新メニュー拡販

解析キャパシティ向上

- 営業活動の強化**
 - WEBを活用した営業活動
 - ・ホームページを一部リニューアル
 - ・ウェビナー開催（研究者ニーズ開拓）
- 新たな**解析メニュー**の拡販
 - 高感度・網羅性が特徴のメニュー拡販
 - 脂質解析メニューの拡充
- 解析のキャパシティ向上**
 - 測定時間の短縮等

セミナー | 学会・展示会情報 (弊社ホームページ)

毎月ウェビナーを開催

2021年3月10日(水) 14:00~15:00 (60分) 先着順 500名

2021年2月17日(水) 14:00~15:00 (60分) 先着順 300名 → 300名

筑波大学 松井崇先生 特別講演... 東京医科大学 杉本昌弘先生 特...

プラン選びに迷ったら

- ・解析メニューを分かりやすく表示
- ・解析メニュー拡販

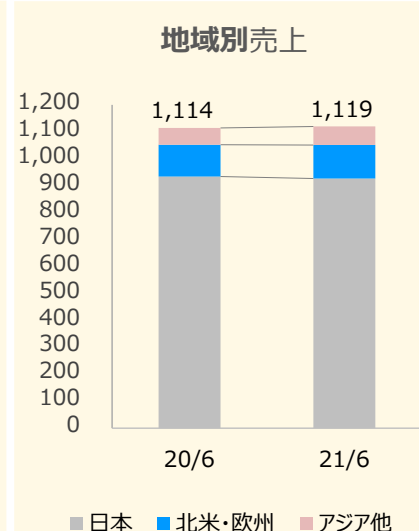
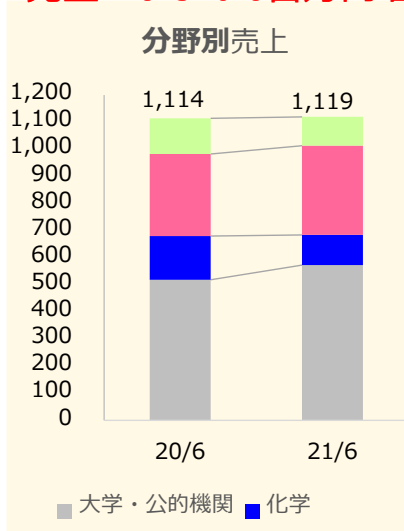
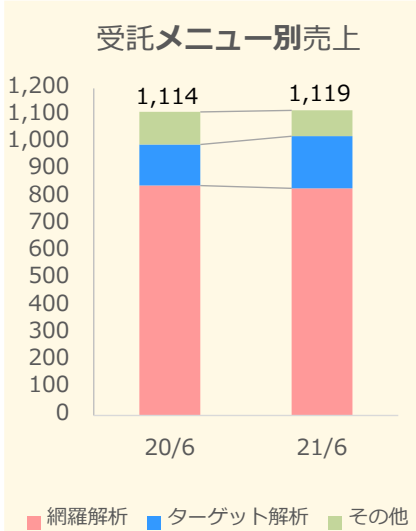


本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

営業活動強化
新解析メニュー拡販

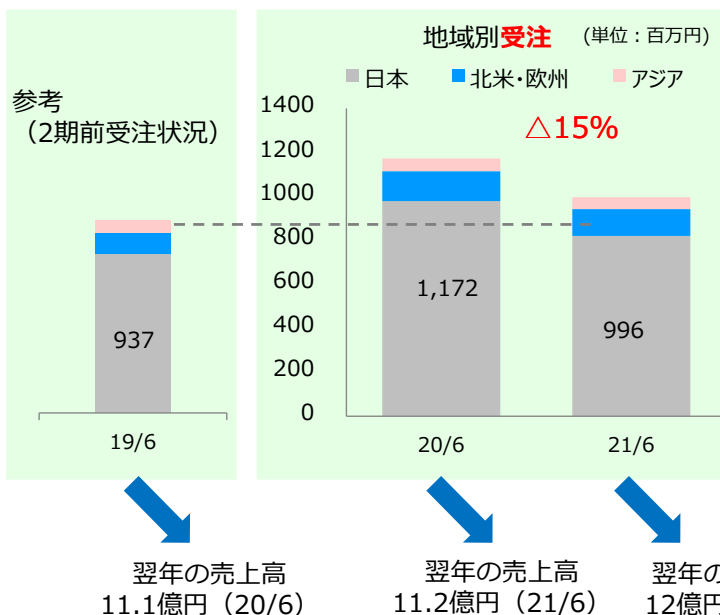
WEBを活用した営業展開（ウェビナーなど）
アカデミア分野・食品分野での売上が伸長
化学分野は研究開発遅延が影響
新解析メニュー拡販

売上 + 0.5% 6百万円増



※メタボロミクスキットに係る売上を含む。資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
(単位: 百万円) © Human Metabolome Technologies, Inc.

新規案件の獲得と、遅延した大型案件の獲得に注力していく
加えて、解析単価の高い新メニューを拡販し受注増を図ることで、
売上増加につなげる



<事業を展開している地域>

日本

HMT 山形県鶴岡市
国内・海外から送付された検体の
メタボローム解析・測定

アジア

代理店および日本から営業展開

米国 子会社

HMT America マサチューセッツ州ボストン
米国でのメタボローム解析サービスの提供
欧州でのメタボローム解析サービスの提供
(HMT Europe は、2021年内に開鎖予定。
開鎖後は HMT America にて展開)

翌年の売上高 11.1億円 (20/6) 翌年の売上高 11.2億円 (21/6) 翌年の売上予算 12億円 (22/6)

※メタボロミクスキットに係る受注を含む。 本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発としてマルチマーカー（複数因子）への取組み。
- 予防・モニタリングに焦点を当てた開発を継続。
- 複数大学との共同研究継続するとともに、事業化に向けた検討を開始。

軽度認知障害等

- 弊社共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- 社会実装に向けた開発を継続。多検体でのマーカーの検証を検討中。

バイオマーカー研究支援

- PEA（大うつ病性障害バイオマーカー候補）の研究検査受託において、測定費用の削減への取組みを実施。
酵素法の開発は継続。機器分析は新たな定量法を確立し、コスト削減を実現。
- エクソソーム関連分野の研究ツール（試薬・受託等）開発と改良を継続。エクソソーム精製キットの普及に向け、当該キットを利用したアプリケーションデータの蓄積を実施中。

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

11

目次

1. 2021年6月期（前年度） 決算報告
2. 2022年6月期（今年度） 業績予想
3. 今後の経営方針

参考資料

持続的に成長する組織を目指してまいります。

- **利益拡大**
 - ・新たな解析メニューの拡充・拡販により売上成長を目指す
 - ・生産性向上と適切なコストコントロールにより利益拡大を目指す
- **開発プロジェクトの推進と新たな事業領域を開拓**
 - ・メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進する
 - ・ヘルスケア分野における新規事業の創出に取り組む

(単位：百万円)

	2022年6月期	(ご参考) 前期 2021年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,200	1,124	+76
営業利益	100	39	+61
経常利益	100	59	+41
親会社株主に帰属する当期純利益	100	58	+42
一株当たり当期純利益	16円95銭	9円87銭	-

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

13

目次

1. 2021年6月期（前年度） 決算報告
2. 2022年6月期（今年度） 業績予想
3. 今後の経営方針

参考資料

当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、
最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を
 活用した研究開発により、
 人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

15

持続的に成長する組織へ

当社が目指す方向性

【ヘルスケア・ソリューション・プロバイダー】
 ヘルスケア研究開発に携わる人々のベストパートナーとして、
 画期的なヘルスケア製品・サービスの創造に貢献する。

当社のSDGsへの取り組み



【目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう。】

当社の技術・ノウハウを提供することで産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に貢献する。



【目標3：すべての人に健康と福祉を。】

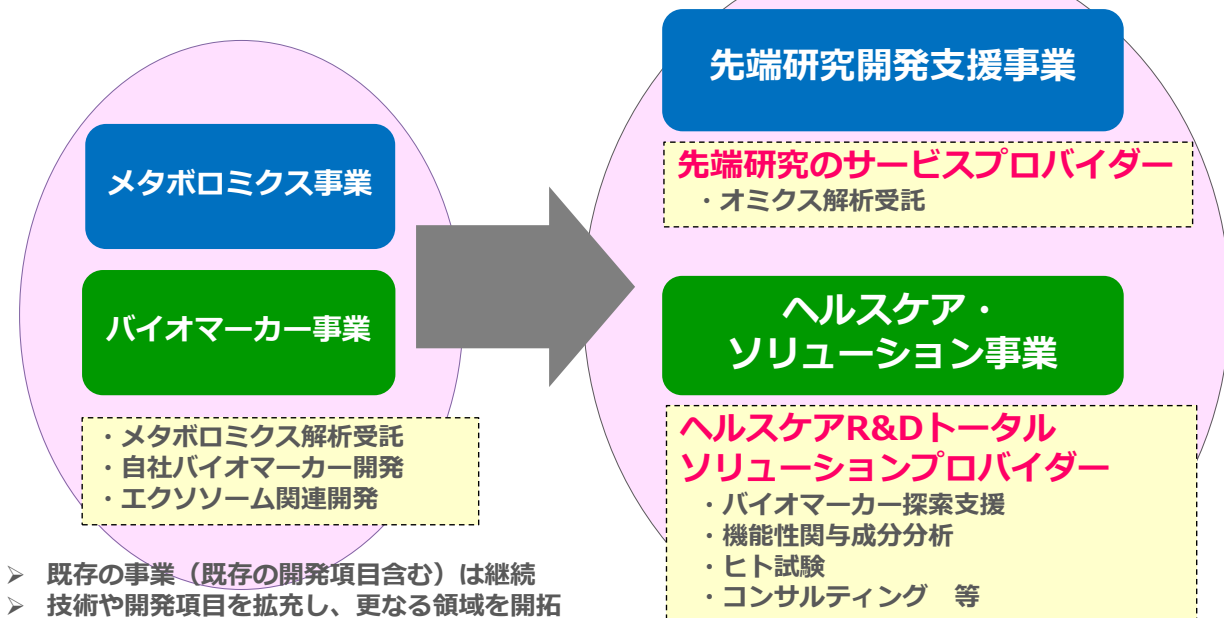
当社の研究開発支援の結果、クライアント企業及び自社の製品化・サービス化により、健康危険因子の早期警告・緩和・管理、感染症などへの予防・対処、精神保健などの改善に貢献していく。

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

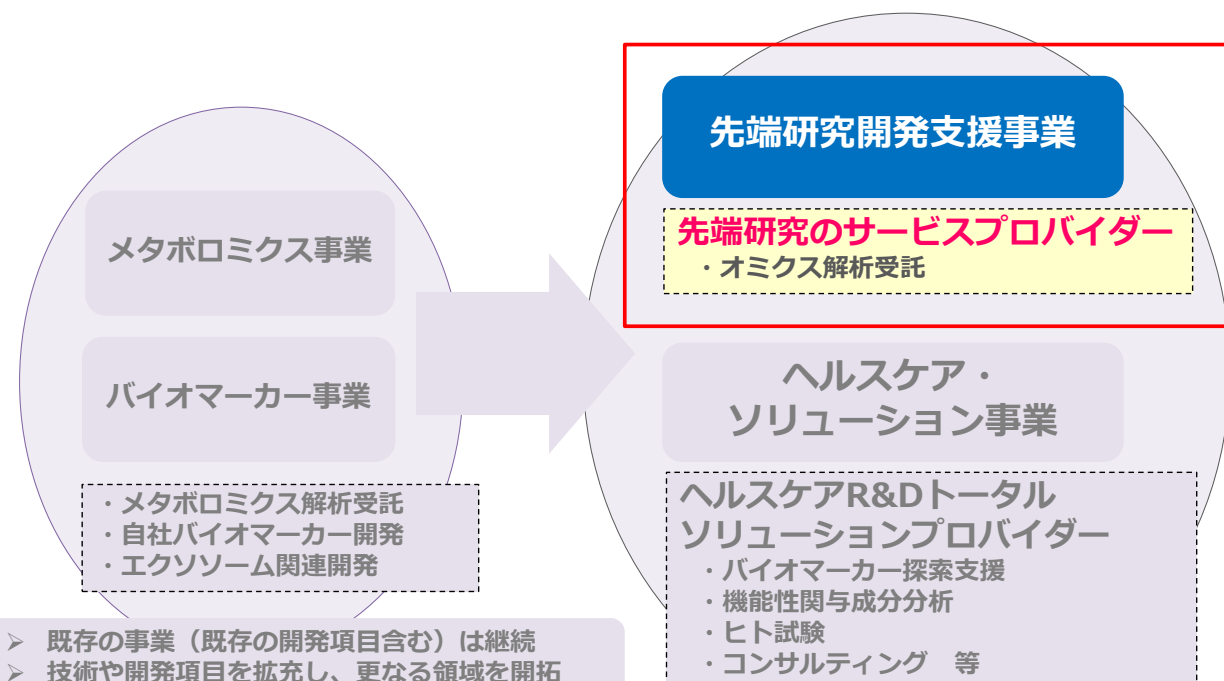
16

当社の事業

「メタボロミクス事業」から「**先端研究開発支援事業**」へ
 「バイオマーカー事業」から「**ヘルスケア・ソリューション事業**」へ



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

メタボロミクスの市場環境

世界のメタボロミクス受託市場



今後も
成長ポテンシャルが期待できる市場。
 日本国内においては当社が7割程度のシェアを保有。

出典: MarketsandMarkets, Metabolomics Market: Global Forecast To 2025, December 16th 2020を元に当社推計 (1ドル=100円換算)

メタボロミクス関連論文数の推移

PubMedにおいて、“Metabolome OR Metabolomics”で検索
 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/)

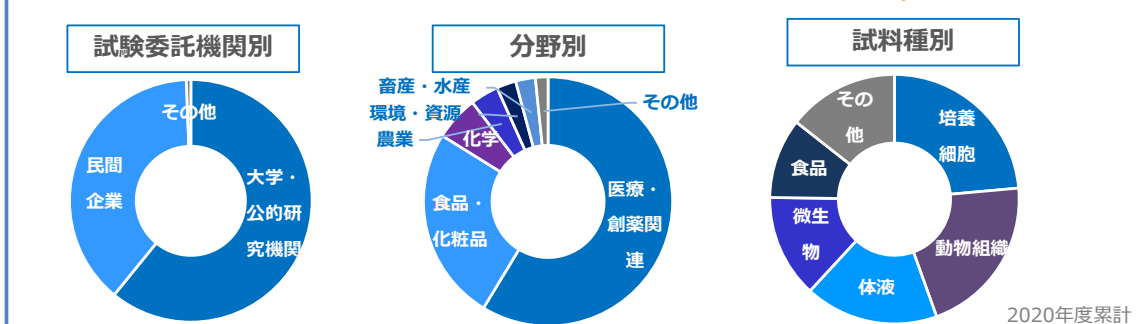


本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
 © Human Metabolome Technologies, Inc.

- 当社の強み① 分離技術/分析技術 (CE-MSを中心とした代謝物解析)
- 当社の強み② 広範な顧客基盤
- 当社の強み③ 多種多様なプロジェクトで培った解析ノウハウ

当社のメタボロミクス実績

累計試験数 (プロジェクト数) 7,000件以上

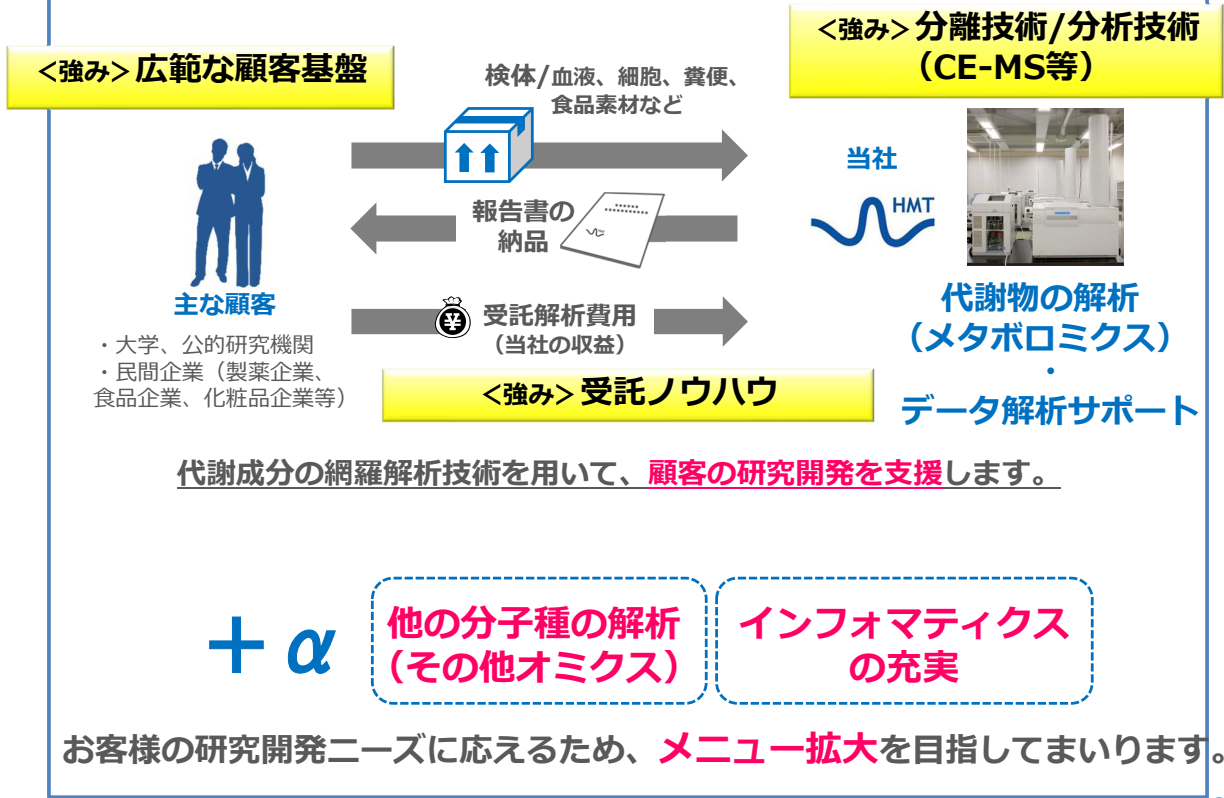


メタボロミクスが活用されている研究領域

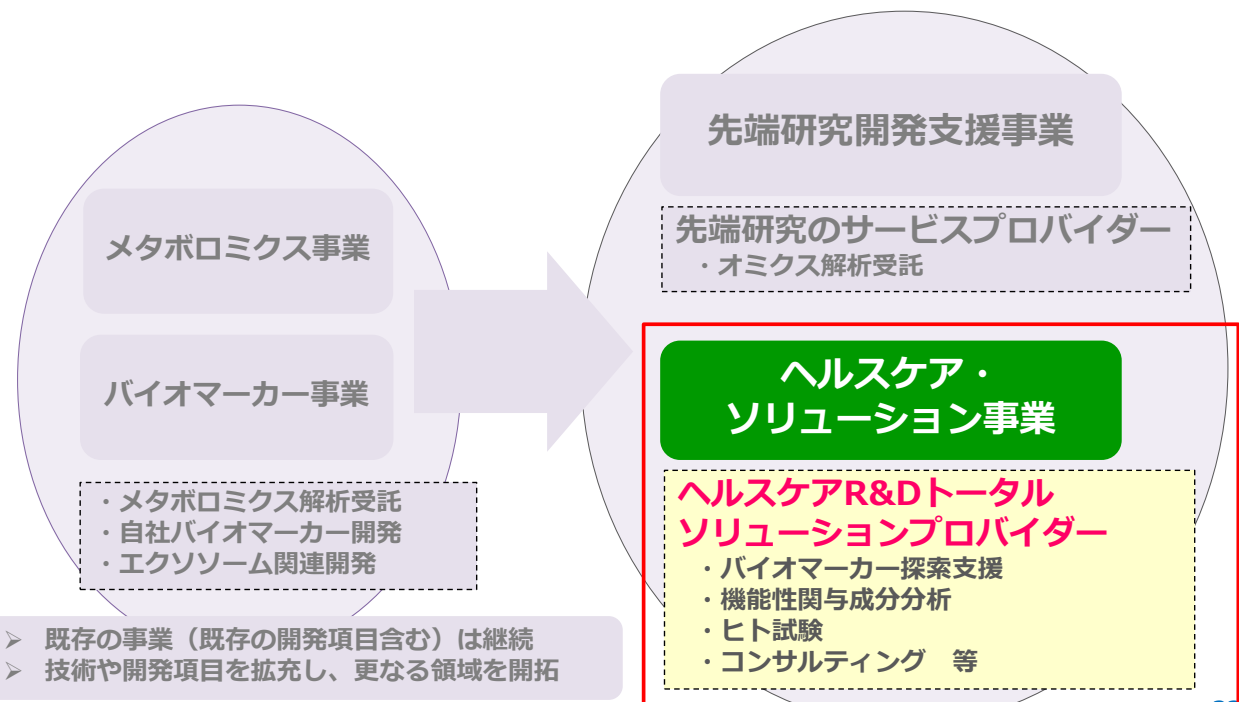


本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
 © Human Metabolome Technologies, Inc.

先端研究開発支援事業



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。



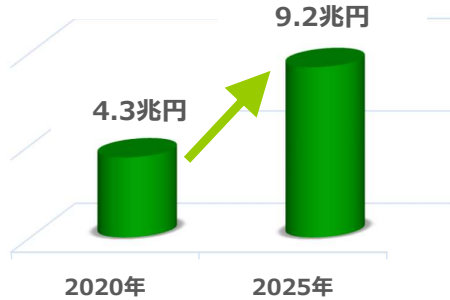
本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

世界のバイオマーカー市場規模

全バイオマーカー

バイオマーカーとは：特定の病状や生命体の状態を客観的に評価することができる生体内の指標

CAGR (※) ※ CAGR :
16.3% 年平均成長率

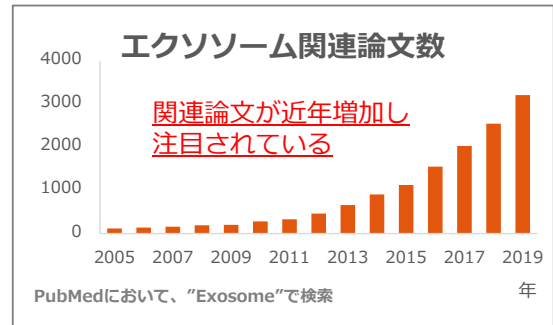


(1ドル=100円換算)

出典：BCC Research, Biomarkers: Technologies and Global Markets, March 10th 2021

- 世界のバイオマーカーの市場規模は2025年には9兆円とも予測され、今後も拡大が見込まれる。

- リキッドバイオプシー（低侵襲の液体生検）におけるバイオマーカー市場は近年増加傾向
- 近年、注目されているエクソソームは、リキッドバイオプシーのマーカーとして期待されている

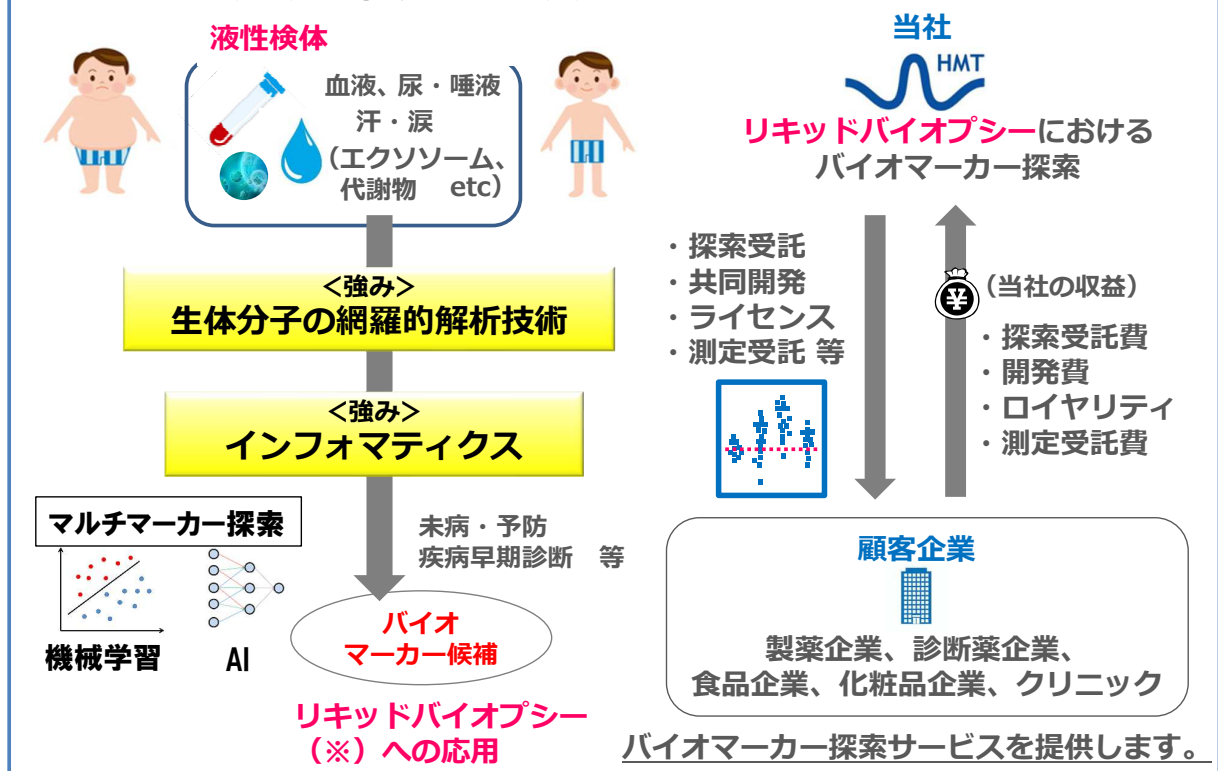


(※) リキッドバイオプシーとは、侵襲性の少ない液体検体を用いた検査、解析技術

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

バイオマーカー開発サービス



(※) リキッドバイオプシーとは、侵襲性の少ない液体検体を用いた検査、解析技術

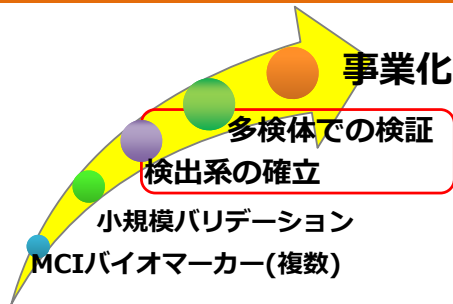
本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

メンタルヘルス関連（うつ病関連）

＜取組み状況＞

- 精神状態の評価指標の開発としてマルチマーカー（複数因子）への取組み。
- 複数大学との共同研究を継続。
- 精神状態のモニタリングに焦点を当てた開発を継続。事業化に向けて協業先など検討中。（例：健康経営におけるメンタルヘルス不調予防、復職支援等）

軽度認知障害（MCI）マーカー



＜取組み状況＞

- 弘前大学COIとの共同研究を継続し、事業化に向けた開発を継続。
- 再現性のあるマーカーが複数種類得られている。
- 多検体でのマーカー検証を実施予定。

（当社の収益）技術ライセンス、ロイヤリティ、測定受託

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

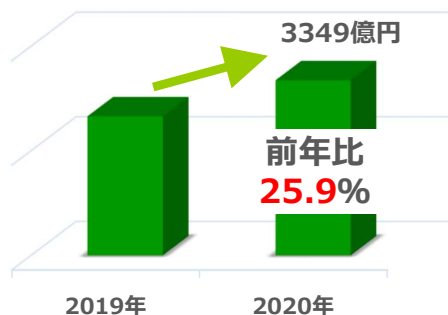
日本のヘルスケア（※）市場規模

※公的保険外サービスで健康の保持・増進に働きかけるもの

国内のヘルスケア関連の市場規模は**2025年には約12.5兆円（年平均成長率3.5%）**と見込まれている（出典：経済産業省資料より）。
特に今後は免疫強化に着目した産業の市場拡大が予想される。

（株）富士経済2021年資料によると、2020年の**機能性表示食品の市場規模は3,349億円**に達し、前年対比約26%の成長率となっている。

機能性表示食品市場



出典：（株）富士経済2021年資料を元に当社推計

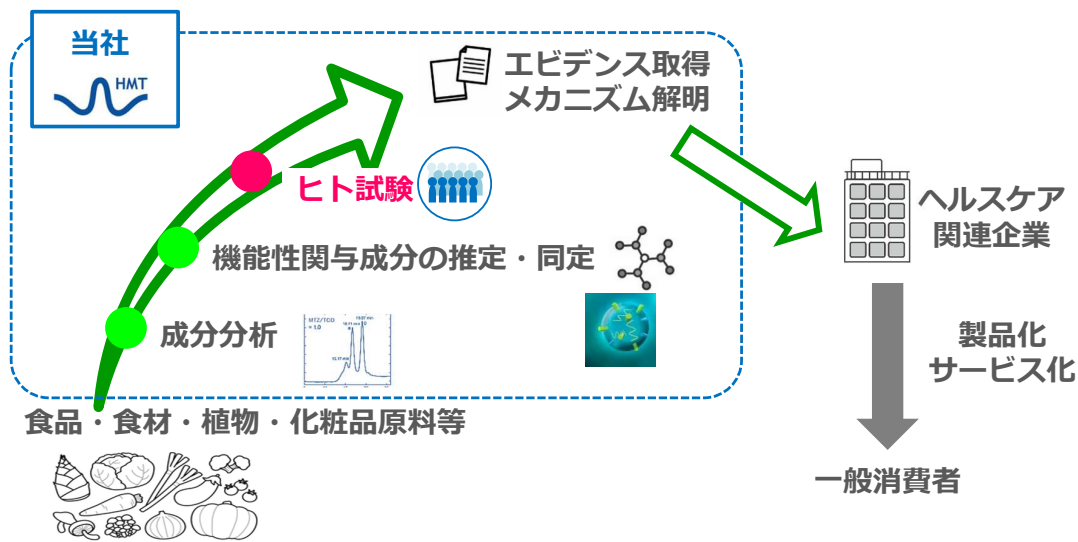
- 機能性表示食品市場（国内）は、前年比などからも**今後も高水準での成長が見込まれる**。
- この成長市場には国内外の食品・化粧品・化学会社などのヘルスケアメーカーが高い関心を寄せている。

ヘルスケアの研究開発支援
（新規事業）
に取組んでまいります。

ヘルスケア・ソリューション開発サービス

ヘルスケアの研究開発支援を行います。
 機能性素材にかかる研究開発の課題をワンストップで解消するソリューションを提供する他、機能性素材の自社開発等を行います。

新たに取り組むビジネスであり、現時点では開発ステージにあります。



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

基本戦略

基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大と
 ヘルスケア・ソリューション事業の早期確立

先端研究 開発支援事業

平均年率7%以上の売上拡大を目指す

- ① 受託解析サービスメニューの拡充および新規開発
- ② 測定解析の生産性向上
- ③ メタボロミクスユーザーへのアップセル・クロスセル

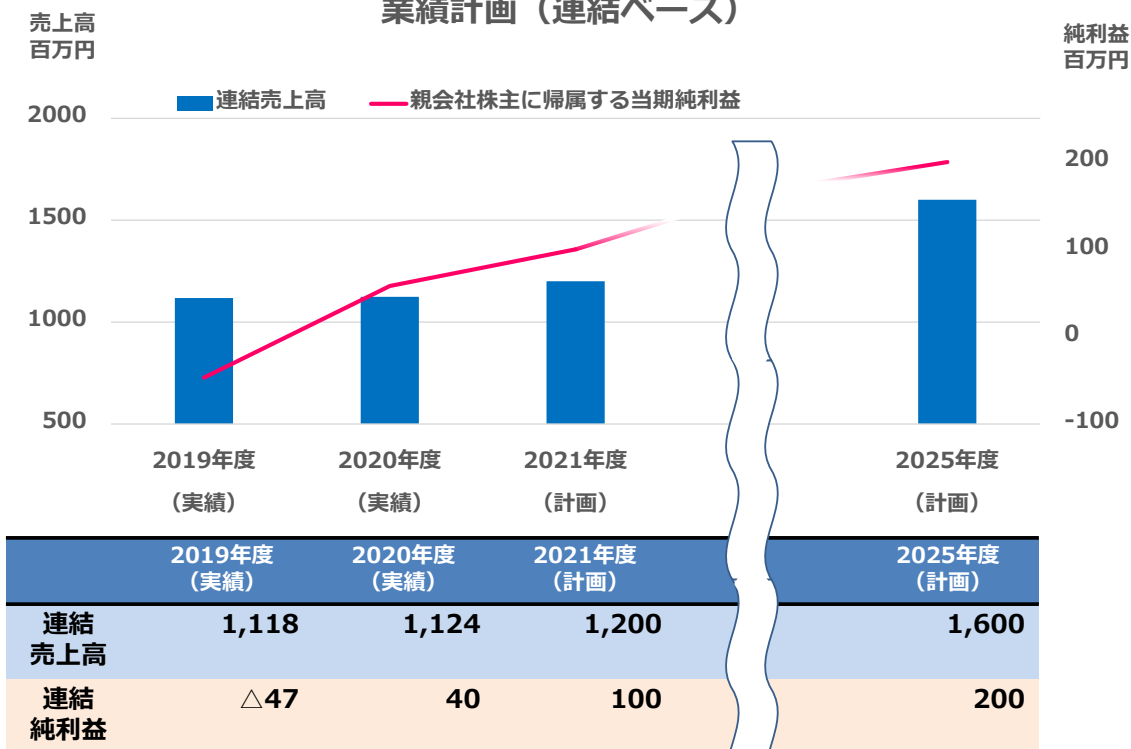
ヘルスケア・ ソリューション 事業

5年後を目処に
 持続的な売上が計上できる事業に成長させ、
セグメント利益の黒字化（全社共通費の配賦を除く）
 を目指す

- ① バイオマーカー開発サービスおよび自社開発マーカーの早期収益化
- ② ヘルスケア・ソリューション開発事業の立ち上げ

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
 © Human Metabolome Technologies, Inc.

業績計画（連結ベース）



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、
最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を
 活用した研究開発により、
 人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

本資料の取り扱いについて

本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

31

参考資料



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,481百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学先端生命科学研究所所長
曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：メタボロミクス事業
バイオマーカー事業

売上高（直近）：1,123百万円

従業員数（連結）：75名（博士：17名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2
東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

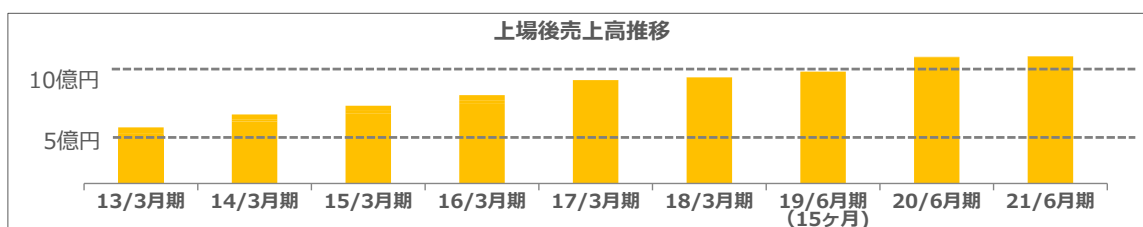
子会社：HMTアメリカ アメリカボストン
HMTヨーロッパ オランダライデン

(2021年6月現在)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

- 2001 ● 慶応大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶應義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 上場（東証マザーズ：6090）
- 2013 ● うつ病バイオマーカー基本特許登録（日本）
米国（2015年）、中国（2015年）、欧州（2019年）
- 2015 ● 第9回 日本バイオベンチャー大賞受賞
● PEA測定に関する特許登録（日本）
- 2016 ● HMTバイオメディカル株式会社設立（2021年HMTと統合）
● エムスリー株式会社との資本業務提携
- 2018 ● 大うつ病性障害バイオマーカーに関する論文掲載
- 2019 ● 弘前大学寄付講座「メタボロミクスイノベーション学」開設
● 軽度認知障害バイオマーカー特許出願（日本）



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.